

桜田温泉・泉質の特徴

桜田温泉山芳園の源泉の特徴は泉質よし・泉温よし・湧出量よしの「三方(さんぼう)好し」。この三つを温泉の三要素というが、その総てが申し分ない源泉は非常に稀である。

泉質はナトリウム・カルシウム-硫酸塩温泉(旧泉質名:含石膏-芒硝泉)。pH:8.6、低張性・アルカリ性・高温泉、成分総量:1.819g/kg、泉温:74.3℃、湧出量:552ℓ/分、さらに掘削深度1000mの井孔の自噴密閉圧は6kg/cm²で、深層から湧出る温泉は地表で高さ60mまで噴き揚がるのである。この温泉湧出の特性を上手に使用して実現したのが主人命名の「源泉脈かけ流し」である。深度1000mの井孔から自噴する74.3℃の温泉が通るパイプに、自らの温泉を噴霧して、その蒸発潜熱により適温まで温度を下げ、さらに「加水しない、空気に触れない、圧力も抜かない」地下深部の温泉脈から湧出する源泉そのものである。これが浴用や飲用、さらには温泉スタンドでも利用されている。それに、伊豆の火山地域の深層温泉に区分できる山芳園の源泉は地表の人為的汚染とは無縁で、有機物を殆ど含まない。溶存する成分は変質しにくいのも特徴の一つである。

元・神奈川県温泉地学研究所長
理学博士

平野富雄



拡大図



日本秘湯を守る会 会員/源泉湯宿を守る会 会員

源泉脈かけ流しの宿 **山芳園**
桜田温泉 源泉旅館

410 3625 静岡県賀茂郡松崎町桜田 569-1

TEL 0558-42-2561

http://www.sanpouen.co.jp info@sanpouen.co.jp

山芳園

西伊豆 桜田温泉

Sanpouen

源泉脈かけ流し
おいしく飲める温泉飲泉の宿



桜田温泉源泉の適応症

桜田温泉はナトリウム・カルシウム-硫酸塩温泉で、主成分の硫酸ナトリウムは常温では10水塩・芒硝(芒硝1分子が水10分子を抱える)として知られ、正倉院薬物の世界(鳥越泰義著)に記述される古くから知られた成分であり、多くの人浴剤(無水塩・硫酸ナトリウム)に使用されている。硫酸塩泉の浴用における適応症は切り傷、やけど、動脈硬化症、慢性皮膚病が挙げられる。飲用すると通利作用、胃液や胆汁の分泌を促進し、常習便秘、胃アトニー、胆囊炎、胆石症に効果があり、さらに豊富なナトリウム・カルシウムイオンによる鎮静、抗アレルギー、消炎作用により胃腸炎、潰瘍性疾患、痛風、糖尿病、肥満症、肌荒れに効果があると考えられている。さらに塩化物泉や硫酸泉のような癖が無いので飲みやすく、むくみや高血圧などの副作用も非常に少ないことも特記すべき点である。

古い温泉場などでは浴槽の湯口にコップが置かれたりするが、現在の衛生面を考慮した法律では禁止されている。その観点からも山芳園の飲泉許可を受けた飲泉所で体験していただきたい。

上記適応症はあくまで目安であり、温泉療法については温泉療法医の指導を受けるのが望ましい。

温泉療法医
産婦人科学会認定医 岸田和彦

